

大 分 県 知 事  
広 瀬 勝 貞 殿

# 要 望 書

大分県立美術館建設について

大 分 県 美 術 協 会

特定非営利活動法人

大分県芸術文化振興会議

## 県立美術館建設のお願い

県立美術館建設の運動は、大分県美術協会が中心となり、松方コレクション展の翌年 1967 年から始まりました。1977 年にはホール部門併設の県立芸術会館として誕生いたしましたが、展示スペースが手狭なため翌 1978 年から展示室拡張等について要望してまいりました。以後、知事への要望・陳情は 1985 年、1992 年、1999 年、2006 年と行ってまいりました。

また、2009 年 3 月から県民の皆さんに美術に親しんでいただく機会を増やし、併せて美術館建設の機運が高まることを願い、大分県立図書館・大分県立病院において「移動県美展」「県美協秀作展」と題した展示を行っております。

2009 年 2 月、県は、中期行財政運営ビジョンの中で県立美術館の基本構想に着手、2010 年 1 月、有識者による「大分県美術館構想検討委員会」を設置され、6 回にわたる協議を経て、11 月 25 日「県立美術館基本構想」が答申されました。

この答申に示された美術館のあり方に沿って、さらに具体的に検討され、文化芸術活動の拠点である県立美術館を早急に実現していただきたく、切にお願いいたします。

## 希望する美術館の概要について

### 1、大分県に適合した

常設展示場の確保 (1,000 m<sup>2</sup>以上)

### 2、各種の美術展に対応できるゆとりある

企画展示場

県民ギャラリーの設置 (2,000 m<sup>2</sup>以上)

### 3、新時代の県立美術館にふさわしい

情報の収集・伝達

研究・学習機能の充実

### 4、県民が気軽に集う

まちの広場としての機能

以上の方向で実現いただきたく、ここに要望いたします。

平成 23 年 1 月 17 日

大分県美術協会

代表者 会長 合 田 習 一

特定非営利活動法人

大分県芸術文化振興会議

代表者 理事長 渡 辺 恭 英